

作成日 : 1996年 7月31日

改訂日 : 2025年10月29日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	クロレートS
供給者の会社名称	協友アグリ株式会社
住所	東京都中央区日本橋小網町6番1号(山万ビル11F)
担当部門	法務コンプライアンス部
電話番号	03-5645-0700
FAX 番号	03-3639-5299
緊急連絡先	03-5645-0700 (平日の9～17時)
推奨用途	農薬(緑地管理用除草剤)
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入(気体)	区分に該当しない
急性毒性：吸入(蒸気)	分類できない
急性毒性：吸入(粉じん)	区分に該当しない
急性毒性：吸入(ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、免疫系、腎臓）
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 長期間にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、免疫系、腎臓の
 障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 取扱い後、手、顔、眼をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 粉じん/煙/蒸気を吸入しないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受ける
 こと。

保管

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

施錠して保管すること。

内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。

重要な徴候及び想定される
 非常事態の概要

塩素酸ナトリウムが生体内に吸収されると、酸化剤としての作用に
 よりメトヘモグロビン血症を生じ、吸収量が多い場合には頭重、頭
 痛、めまい、倦怠感、疲労感、顔面蒼白、チアノーゼ、尿の着色等
 の症状を起こすことがある。

塩素酸ナトリウムは常温では安定であるが、300℃付近で酸素を放

出し支燃性を示す。加熱により単独で爆発することがある。有機物、イオウ紛等と混合するとわずかな刺激で爆発する。燃焼、強酸との混合により二酸化塩素を発生する。二酸化塩素の濃度が密閉系で高濃度（15 vol%以上）になると爆発する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

塩素酸塩粒剤

成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> 塩素酸ナトリウム（塩素酸塩）	NaClO_3	50.0 %	7775-09-9	—	(1)-239
<成分②> 炭酸水素ナトリウム（重炭酸ナトリウム）	NaHCO_3	30.0 %	144-55-8	—	(1)-164
<成分③> 鉍物質等	—	20.0 %	—	—	—

<安衛法 表示・通知対象物質>

(成分)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
結晶質シリカ（成分③に含有）	1.6 ～ 2.8 %	14808-60-7	既存物質	(1)-548

【令和8年4月1日以降】安衛法 表示・通知義務対象物質

(成分)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
塩素酸ナトリウム（塩素酸塩）	50.0 %	7775-09-9	—	(1)-239

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

霧状水、粉末消火剤（リン酸塩類等を使用するもの）、泡消火剤、乾燥砂等

使ってはならない消火剤

二酸化炭素、ハロゲン化物、粉末消火剤（リン酸塩類等を使用するものを除く）

火災時の特有の危険有害性

火元への燃焼源を断ち、大量の水又はその他の消火剤を使用して消

特有の消火方法	火すること。 消火のための放水等により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。
消火時の注意	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用すること。粉じんを吸入しないこと。
環境に対する注意事項	漏出した物質が河川、湖沼、海域等に飛散、流入しないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散したものを掃き集め、密封できる空容器に回収すること。
二次災害の防止策	また、水洗できる場所では、大量の水で洗い流すこと。 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	火気、衝撃及び可燃物に接触しないように注意すること。
安全取扱い注意事項	みだりに粉じんを発生させないこと。 粉体の堆積を防ぐこと。
接触回避	情報なし
衛生対策	粉じんを吸い込んだり、眼や皮膚に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	熱から離して保管すること。 製品容器包装材料に準じる。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	$E = 3.0 / (1.19Q+1)$ E: 管理濃度 Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
許容濃度	日本産衛学会 (2015) : 0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ) ACGIH (2015) TLV-TWA : 0.025 mg/m ³ (結晶質シリカ)
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	ゴム手袋

眼、顔面の保護具
皮膚及び身体への保護具
特別な注意事項

側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴
情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粒状固体
色	類白色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし（①塩素酸ナトリウム 248 °C）
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
分解温度	情報なし（①塩素酸ナトリウム 約300 °C）
pH	情報なし
溶解度	情報なし（①塩素酸ナトリウム 水 50g/100 g、アセトン 0.943 g/L、エタノール 9.9g/L（25 °C）
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.2（見かけ比重）
粒子特性	粒径1190 μm以上
粉じん爆発性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いにおいては反応性なし。
化学的安定性	常温では安定。
危険有害反応可能性	強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応する。
避けるべき条件	燃えやすいものとの混合、熱
混触危険物質	多くの有機物と反応し、衝撃に敏感な混合物を生成し、爆発の危険をもたらす。
危険有害な分解生成物	火災の危険性を増大させる酸素や有害なヒューム（塩素）を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD ₅₀	>5,000 mg/kg（ラット、マウス）（区分に該当しない）
経皮 LD ₅₀	>2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
吸入 LC ₅₀	計算から求めたLC ₅₀ が区分4の分類基準より大きい（区分に該当しない）。
皮膚腐食性/刺激性	刺激性あり（ウサギ）（GHS分類基準以下であり、区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	刺激性あり（ウサギ）（GHS分類基準以下であり、区分に該当しない）
呼吸器感作性	情報なし（分類できない）
皮膚感作性	陰性（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性	成分③の一部に区分2に該当する結晶質シリカを1%以上含有することから区分2とした。
発がん性	成分③の一部に区分1Aに該当する結晶質シリカを0.1%以上含有することから区分1Aとした。
生殖毒性	情報なし（分類できない）

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	成分①、成分③共に「分類できない」、成分②は「区分に該当しない」ので、本剤は分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	成分③の一部に区分1 (呼吸器系、免疫系、腎臓) の結晶質シリカを1%以上10%未満含有 (区分2)
誤えん有害性	情報なし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC ₅₀ (96 hr)	>3,950 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 hr)	>1,500 mg/L
藻類：	緑藻	ErC ₅₀ (72 hr)	>1,000 mg/L
		NOECb	≥1,000 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性 短期 (急性) 及び水生環境有害性 長期 (慢性) を区分に該当しないとした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし (分類できない)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。	

14. 輸送上の注意

国際規制	国連の基準で評価して危険物に該当しない。
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	容器を傷めないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止 処置をとる。積み下ろし時の衝撃及び火気に注意する。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	該当なし

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第11912号
化学物質排出把握管理促進法	「塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩」：第一種指定化学物質 (管理番号：598) 50%
労働安全衛生法	施行令別表第1 第3号 危険物 酸化性の物 ・塩素酸ナトリウム 第57条及び第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険有害物 ・結晶質シリカ 安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質 (安衛則第577条の2第3項 令和4年12月26日告示第371号) ・結晶質シリカ (石英)

【改正後 令和8年4月1日以降】

第57条及び第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険有害物

・塩素酸並びにそのアンモニウム塩、カリウム塩及びナトリウム塩

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない

消防法

消防法危険物に該当しない

化審法

第一種・第二種特定化学物質に該当しない

水質汚濁防止法

①塩素酸ナトリウム：事故時の措置・報告対象

船舶安全法

①塩素酸ナトリウム：酸化性物質類・酸化性物質

航空法

①塩素酸ナトリウム：酸化性物質類・酸化性物質

港則法

①塩素酸ナトリウム：酸化性物質

16. その他の情報

参考文献、資料等： —

記載内容の取扱い：

- ・ 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・ 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。